

第13回 The 13th Annual Meeting of  
the Japanese Society for Epigenetics



# 日本エピジェネティクス研究会年会

2019年  
5月28日 (火) ・ 29日 (水)

講演者 使用言語：英語

特別講演  
佐々木 裕之 (九州大学)

一般講演 II  
Rob Klose (Oxford Univ.)

一般講演 I  
Wei Xie (Tsinghua Univ.)

後藤 由季子 (東京大学)

石黒 啓一郎 (熊本大学)

岡野 栄之 (慶応義塾大学)

岩間 厚志 (東京大学)

一般講演 III  
胡桃坂 仁志 (東京大学)

山岸 誠 (東京大学)

野澤 竜介 (がん研究所)

スポンサーセッション

次期年会長講演

Michel Erb (Scripps Res.)

近藤 豊 (名古屋大学)

Fei Lan (Fudan Univ.)

このほか、ポスター発表演題から選定したショートトーク、奨励賞受賞講演、企業協賛によるランチョンセミナーを予定しております。

テーマ

エピジェネティクス  
発生 から 創薬 へ

会場

神奈川県民ホール  
産業貿易センター

横浜市中区山下町

年会長

古関 明彦

理化学研究所  
生命医科学研究センター

イラスト提供：河本 宏 (京都大学)

本大会のテーマである発生と創薬を、葛飾北斎の「赤富士」の中に、Waddingtonのエピジェネティックランドスケープを取り入れて描画しました。赤富士頂上にある未分化状態の細胞は、斜面を転がり落ちながら、分化していきます。右下の赤黒い塊は「がん」を示し、研究者が格闘する様子を示しています。左側にあるリフトは、分化細胞を頂上に戻す、つまり初期化をイメージしたものです。

